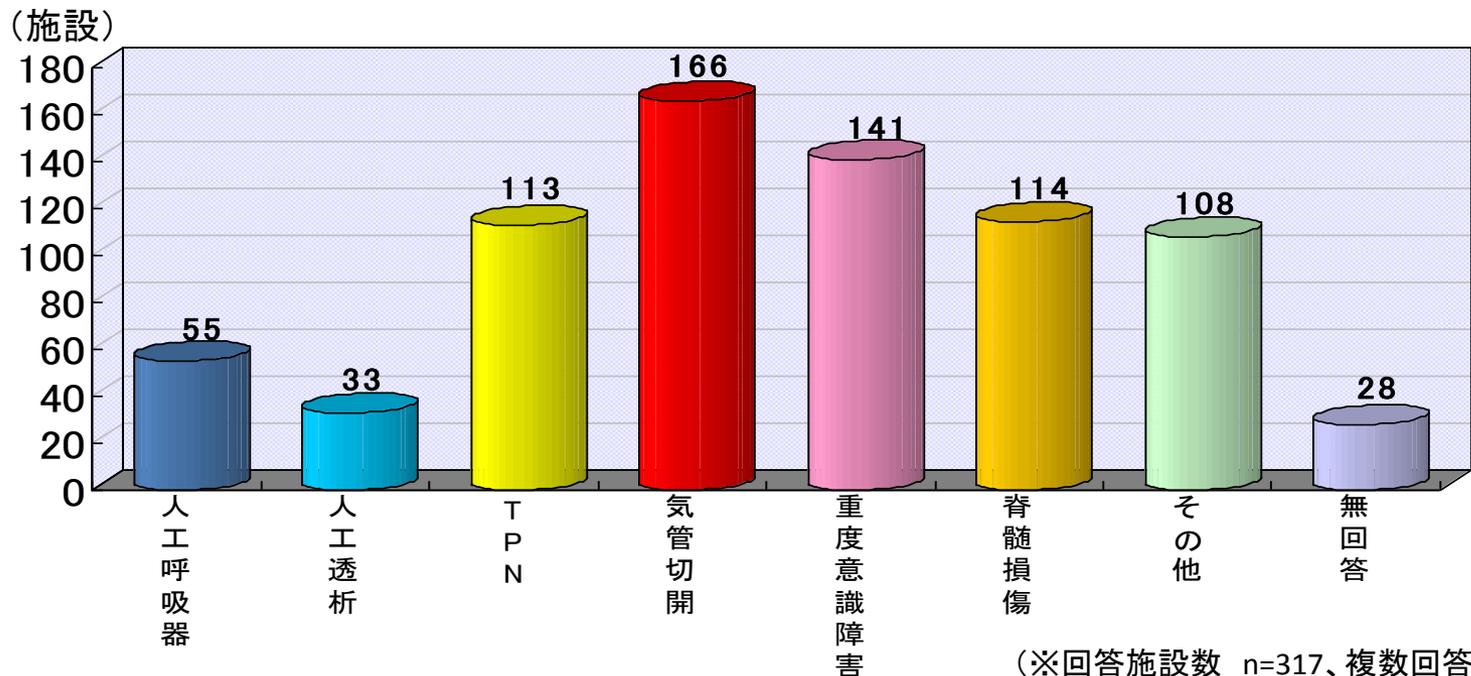


2. どのような患者を積極的に受け入れたいですか？



	回答病院数	割合(%)
人工呼吸器装着	55	17.4
人工透析患者	33	10.4
TPN	113	35.6
気管切開	166	52.4
重度意識障害	141	44.5
脊髄損傷	114	36.0
その他	108	34.1
無回答	28	8.8

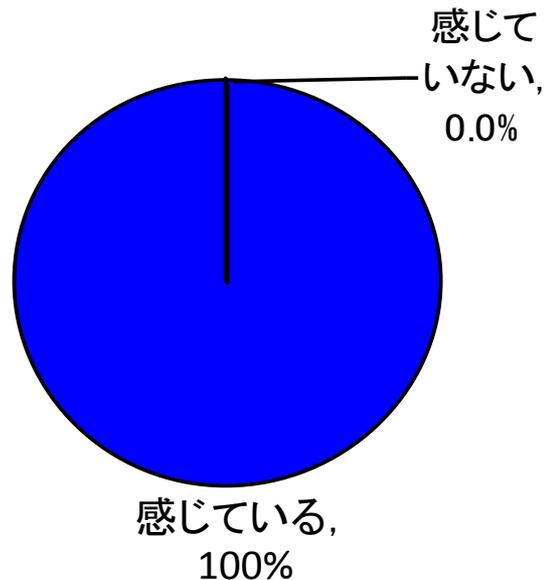
日本慢性期医療協会

3次救急指定病院を対象とした療養病床との 連携に関するアンケート集計調査

実施時期 : 平成20年8月
調査対象 : 3次救急指定202病院
回 答 : 73病院

3次救急指定病院を対象とした療養病床との連携に関するアンケート集計調査

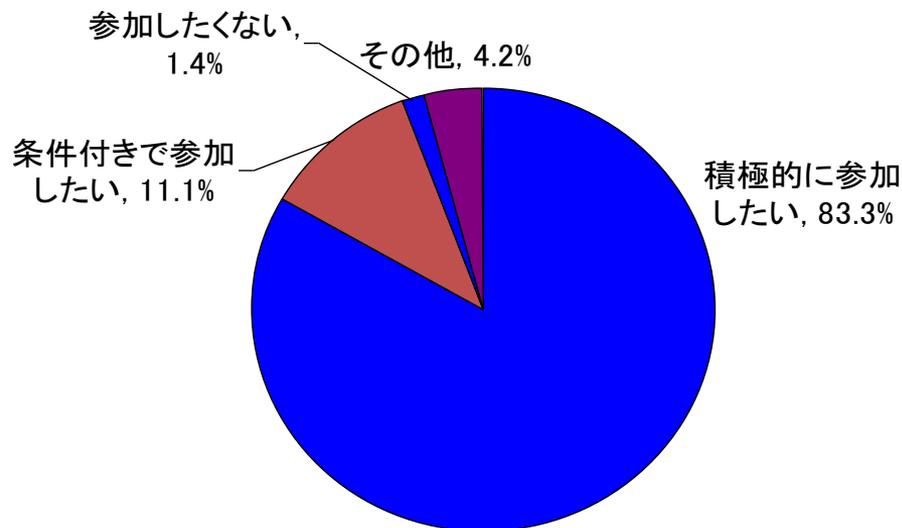
1. 今後、療養病床との連携を強める必要を感じていますか。



	回答病院数	割合 (%)
感じている	71	100.0
感じていない	0	0.0
合計	71	100.0

3次救急指定病院を対象とした療養病床との連携に関するアンケート集計調査より

2. もし、あなたの地域で急性期病院と療養病床との間に連携システムを作ることになれば、参加されますか。



	回答病院数	割合 (%)
積極的に参加したい	60	83.3
条件付で参加したい	8	11.1
参加したくない	1	1.4
その他	3	4.2
合計	72	100.0

3. 救急外来患者のうち療養病床での治療が可能と考えられる疾患を選んで下さい。(n=70)(複数回答)

	病院数	%
誤嚥性肺炎	39	55.7
腰椎圧迫骨折(保存的治癒)	63	90.0
脱水	54	77.1
尿路感染症	49	70.0
終末期を迎え介護施設から搬送されてきた患者	60	85.7
その他	5	7.1

4. 高齢者が誤嚥性肺炎などで救急外来に搬送された場合、救急医療側の判断で療養病床に入院を委託することについてはどのようにお考えですか。

	病院数	%
できる範囲で積極的に行うべき	50	71.4
療養病床の人員、設備の点から行うべきでない	7	10.0
受託できる範囲に療養病床がない	6	8.6
その他	7	10.0
計	70	100.0

5. 介護保険施設(老健、特養)あるいは在宅療養中の要介護認定者の方に急性期医療が必要になった場合、その一部を療養病床が担うことについてはどのようにお考えですか。

	病院数	%
できる範囲で積極的に行うべき	54	80.6
療養病床の人員、設備の点から行うべきでない	9	13.4
受託できる範囲に療養病床がない	2	3.0
その他	2	3.0
計	67	100.0